

2011年度 NEC 匠塾 講座概要

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会 協賛：NEC

①オリエンテーション「自己を振り返る。自己探求の旅」

自分の経歴、価値観等に影響を与えた事柄、ターニングポイントを振り返る。
自分史づくりを通して、受講の目的を明確にし、第二の人生の方向性、構想につなげる。

【ファシリテーター】^{みやち}宮地 ^{かんじ}勘司 氏(株式会社教育と探求社 代表取締役社長)

【日時／会場】

9月1日(木) 13:30～17:30 NEC 会議室(〒108-8001 港区芝 5-7-1)

9月5日(月) 13:30～17:30 JICA 研究所(〒162-8433 新宿区市谷本村町 10-5)

②ボランティア体験プログラム

障害者との交流や共同作業を通じ社会と自分との関係を見つめる。

【日時】9月16日(金)～17日(土) 1泊2日

【場所】社会福祉法人太陽福祉協会 日の出太陽の家(東京都西多摩郡日の出町大久野 5107)

③基礎講座 (事情により時間帯は変更の場合もあります)

NPO・NGO、ソーシャルビジネスとは何か。またこれらの行う事業の特徴、目的、意義、これからの社会に求められる所以を知り、関心を高める。

【第1回】9月20日(火)／「社会の変化と“新しい公共”の担い手」

生活環境が変化する中で、問題の本質を探り、個人としてどう取り組んでいくべきか。既存の価値観の延長線ではなく新たな社会づくりのために何が必要か。社会づくりの担い手としてのNPO、ソーシャルビジネスの可能性について聴く。

【講師】^{まつおか}松岡 ^{としお}紀雄 氏(神奈川大学 名誉教授)

<略歴>公益社団法人日本フィランソロピー協会理事。京都大学法学部卒業。松下電器産業(現パナソニック)株式会社入社。株式会社PHP研究所へ出向しアメリカPHP研究所代表、株式会社国際PHP研究所代表取締役兼英文国際版PHP編集長、(財)経済広報センター主任研究員、神奈川大学経営学部教授を経て、2011年4月より現職。

【会場】NEC 会議室(〒108-8001 港区芝 5-7-1)

【第2回】10月6日(木)／「ゼロから始める広報と資金調達～支援者を増やす仕組みと工夫」

民間非営利団体が継続的に活動をしていくためには、戦略的なマネジメント、資金調達は不可欠だが、多くの民間非営利団体にとって大きな課題となっている。認定NPOとして多くの個人からの寄付を受けている「認定NPO法人ジェン」の取り組みから国内で賛同者を得、安定した財源を構築していくための努力と工夫、課題を学ぶ。

【講師】^{きやま}木山 ^{けいこ}啓子 氏(認定NPO法人ジェン理事・事務局長)

<略歴> 大学卒業後、電機メーカーなどに5年間勤務。その後ニューヨーク州立大学大学院(社会学)修士課程修了。1994年ジェン(JEN)創設に参加、旧ユーゴスラビア現地統括責任者として6年間駐在。2000年から現職。以後、スーダン、アフガニスタン、ミャンマー、イラク、スリランカ、新潟、パキスタン等で支援活動に従事。日経ウーマン誌ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006 大賞受賞。2005年エイボン女性功績賞受賞

【会場】都内会議室

【第3回】10月13日(木)／「ソーシャルビジネスの計画立案～限界集落を再生するNPOの事業」

地域の過疎化、高齢化、産業の担い手不足が課題となっている農村は少なくない。「限界集落」と呼ばれる地域で、第一次産業の魅力を取り戻し、また地域活性へとつなげていくために、農村と都市はどのように支え合えるのか。「NPO 法人えがおつなげて」の取り組みから、そのヒントを探る。

【講師】^{そねはら ひさし}曾根原 久司 氏(NPO 法人えがおつなげて 代表理事)

<略歴> 長野県出身、大学卒業後、フリーター、ミュージシャンを経て、経営コンサルタントの道へ。銀行などの経営指導を通して日本の未来に危機を感じ、その救済モデルを創造すべく、東京から山梨の農山村地域へと移住。林業・農業をしながら“村・人・時代づくり”をコンセプトにNPOとしての活動とネットワークを広げている。

【会場】都内会議室

【第4回】10月19日(水)／「地域におけるネットワークづくり～点から面へのアプローチ」

NPO やソーシャルビジネスが地域の共有財産となり、地域全体が向上していくために何が必要か、ネットワークづくりの必要性、その強みを活かした事業づくりとは…。ネットワーク機能を最大限に活かすために留意することについて、地域経営者の「よろず相談役」であり、人と人を結びつけるコーディネーターとして活躍する長島剛氏に聴く。

【講師】^{ながしま つよし}長島 剛 氏(多摩信用金庫 価値創造事業部 部長)

<略歴> 1989年入庫。支店勤務を経て企画部門に。大人のためのライフスタイルを応援する「多摩らいふ倶楽部」を立ち上げ、地域限定の“強み”を活かした組織化を実現。現在会員数3万人。地域情報紙「多摩ら・び」を企画・発行。多摩ブルー・グリーン賞、たましんインキュベーション施設「ブルームセンター」、たましん法人総合サービスBOB、NPO事業支援ローン等の企画を担当。2009年1月には広域関東圏CB推進協議会と共催で「多摩CBシンポジウム」を開催。

【会場】たましん事業支援センター(〒190-0012 立川市曙町2-8-18 東京建物ファール立川ビル1F)

【第5回】10月下旬／「体験談：セカンドライフの挑戦」

【講師】NPO、ソーシャルビジネスを起業した先輩に、体験談、心得、取り組むヒントを聴く

【会場】都内会議室

【第6回】11月2日(水)／「途上国での商品開発と日本での販売

～フィリピンの貧困層を自立に導く事業」

価値観が多様化している現代、若者の職業選択意識も、社会課題を解決することを重視するようになってきている。フィリピンの貧困層の自立支援のために事業を始め、企業、NPO、地域の枠を超えてチャレンジする社会起業家にその実践と課題、シニア層へ期待することなどお話しいただく。

【講師】講師：横田 ^{よこた} ^{はじめ} 宗 氏 (NPO 法人 ACTION 代表)

<略歴>1976年生まれ。高校3年の時にピナトゥボ火山の噴火で被災した孤児院の存在を知り、単身訪問。1994年にACTION設立。1999年、フィリピン事務局と日本事務局を開設。子どもたちが持っている可能性を発揮できる社会の実現を目指してフィリピンでの孤児院支援、奨学金支援、武道を通じた青少年育成をはじめ、国内では国際理解教育やフィリピンへのボランティア派遣を実施。2010年、菓子袋を再利用したポーチ製作等を通して、女性達の収入向上につなげるエコブランド「エコミスマ」を設立、現在、日本国内の12店舗に出店。企業とのコラボ商品の開発で連携を拡充している。

【会場】都内会議室

④インターンシップ(期間:最長4週間 ※期間・日数は相談に応じて調整します)

NPO・NGO等でのインターンシップ。

関東近郊(一部遠方)中心に10程度の候補団体から受け入れ先を選択。

【期間】2011年11月後半～12月

※(交通費・昼食代、遠方の場合の宿泊費は参加費用に含まれません)

⑤ふりかえりのワークショップ

【日時】2012年1月または2月

【ファシリテーター】塚原 ^{つかはら} ^{しげゆき} 成幸 氏 (NPO 法人日本クリニックラウン協会 事務局長)

⑥修了式

【日時】2012年2月

【会場】都内会議室